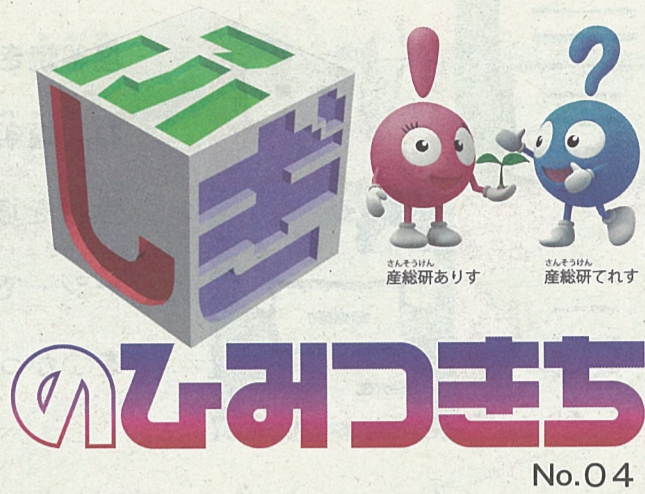


今回のテーマ

世界の病気に 目を向けよう



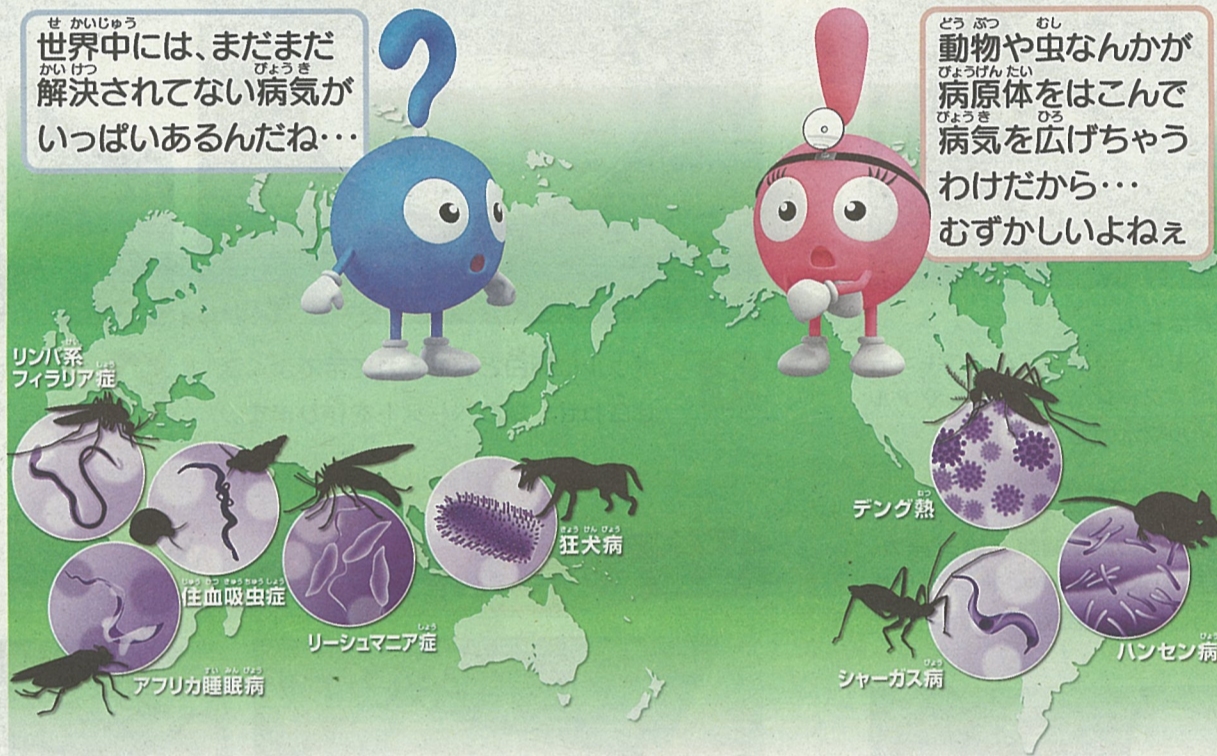
日本では知られていない外国の病気。自分には関係ないと思っていたら、いつか大変なことになっちゃうかも？

「顧みられない熱帯病」と呼ばれるグループの感染症があります。主に貧しい国で流行しているため、薬を開発してもお金にならないと思われて対策が進まなかった病気です。20種類の病気が指定されていて、10億人以上の生活や健康に影響を与えています。

SDGs(持続可能な開発目標)の17目標の一つ「すべての人に健康と福祉を」には、「エイズ、結核、マラリア、顧みられない熱帯病といった伝染病をなくす」と書かれています。より良い世界を作るために、みんなで協力して感染症対策に取り組まなければなりません。

◇日本も無縁じゃない

顧みられない熱帯病の中にはかつて日本でも多くの方が苦しめられた病気もあります。近年では2013年に、中央・南アメリカに多い「シャーガス病」にかかった人が、日本で何度も献血していたことが分かり、ニュ



ースになりました。体の中に寄生虫が入り込んで心臓などの病気を引き起こします。病原体が入った血液を別の人に輸血してしまったら大変ですね。

14年に東京都の代々木公園を中心に広まった「デング熱」もその一つです。この時はウイルスを運ぶ蚊を駆除するため、公園に殺虫剤がまかれました。デング熱は東南アジアなどで多

くみられ、高熱が出たりして適切に治療しないと死に至ることもあります。このように遠くの国の病気が突然日本にやってくることもあるんですよ。

◇世界の感染症を知ろう

いろいろな国に行けるようになった現代ですが、行った先どんな病気があるかを知らないと、気付かずにかかってしま

うかもしれません。また、今は暖かい国にしかない虫も、地球温暖化で日本にすむようになれば、それらの虫が運ぶ病気も一緒に入ってきます。今は日本にない世界の病気もいつか身近なものになるかもしれません。世界で感染症をなくすためにどのような取り組みが行われているか、ぜひ調べて遠い国のことを想像してください。

今日の先生



高木悠友子さん

「通訳者になろうと留学したら、英語より科学の方が面白くなって生物学の博士になってしまいました」

産業技術総合研究所(産総研)バイオメディカル研究部門。専門は分子生物学、微生物の研究。出身小学校は愛知県扶桑町立山名小。

さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブページはこちら →
(さんそうけんサイエンスタウン)

